

# <暮らしの夢から“かたのサイズ”をめざす像までの流れ>

## 暮らしの夢

### 2. 福祉が充実し、「お互い様」と助け合える人の「わ(和・輪)」に支えられた暮らし

私には、体調が悪いときなど電話をかけたら、気軽に家事を手伝ってくれる友達が近所にいる。車に乗れなくても、お医者さんまで友達が送ってくれたり、ゆうゆうバスででかけることもできる。専門医療機関も整っているので安心だ。

体調不良が少し長引いたときには、子どもの面倒をみてもらったり、家事サービスを頼める機関もあり、本当に助かる。

私も、日頃にご近所の一人暮らしのおばあさんに代わってゴミだしをしている。そのおばあさんは、毎年自分でつけている梅干をわけてくださる。「お互い様」という言葉を実感する毎日だ。

(子育て中の女性)

近くに住んでいる娘夫婦に子どもができる。娘はまだ勤めをもっているが、市内にお産ができる産婦人科があり、妊婦検診に行きやすいようだ。出産時も安心だ。

昨年は同居している父が脳梗塞で倒れた。一命を取り留めたが、半身麻痺となった。今はリハビリセンターに通っており、ゆうゆうバスに乗る際には付き添っている。

まちの中の段差も減ってきて、遊歩道もあるので、毎日がんばって家の周りでも歩行訓練をしている。ご近所の方が声をかけたり、見守ったりしてくださるので、だんだん表情が明るくなってきた。

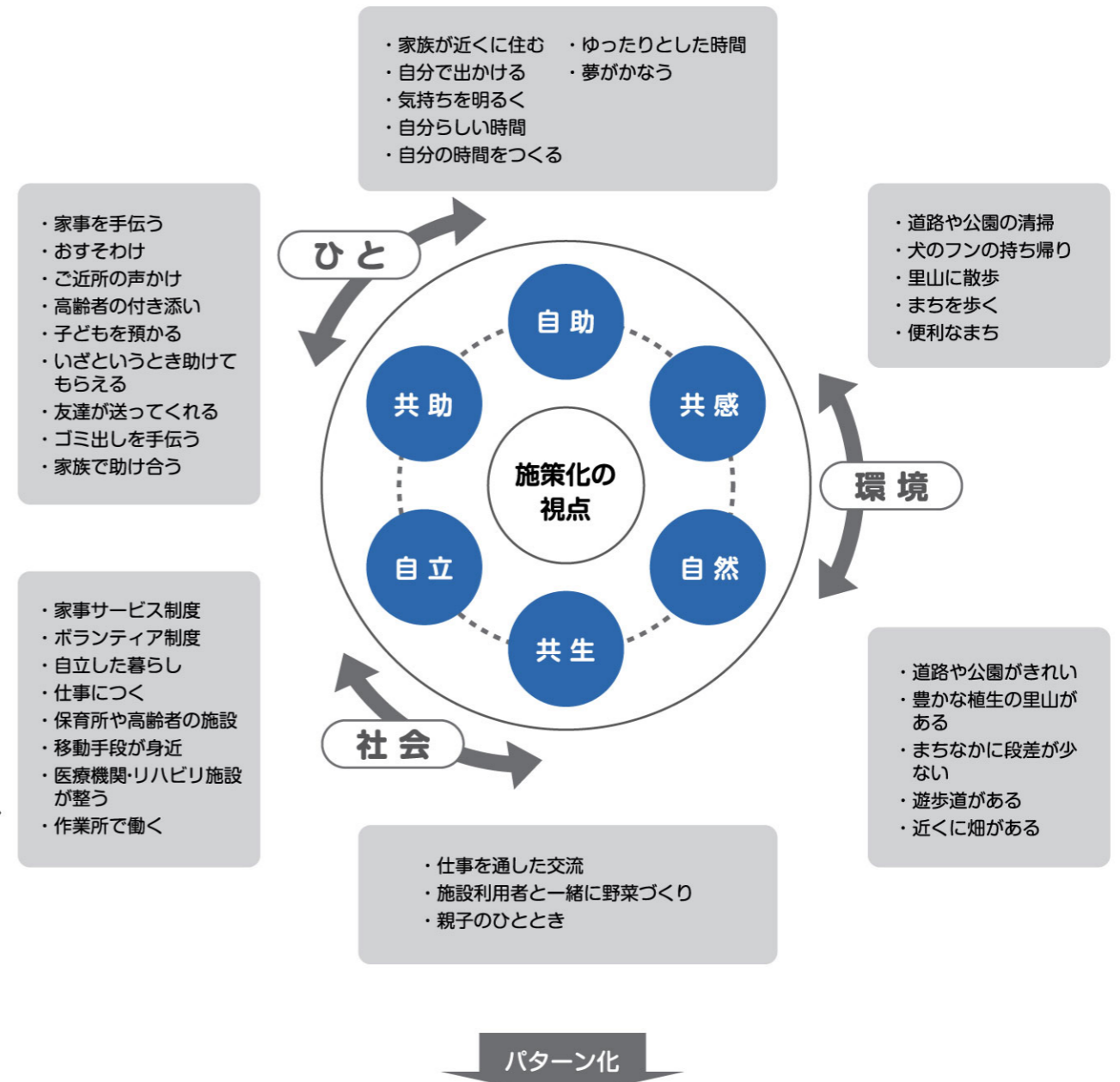
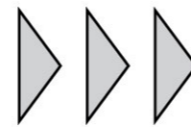
(中年女性)

私の息子は作業所に通っている。長年の夢がかない、市内にグループホームができて、そこで自立して暮らすことになった。保育所や高齢者施設の給食をつくる仕事にもつくことができた。

息子にご飯をつくって、一緒に食べるという時間はこれからも大切にしていきたいが、少しできた時間で、高齢者施設にボランティアに行くことにした。

裏の畑で利用者の方々と一緒に野菜を育てたり、里山に散歩に行く際の付き添いをしている。ゆったりとした時間がここにはある。

(障がい者の家族)



No.	“かたのサイズ”をめざす像
10	ボランティアや地域活動などに参加して、やりがいがある
11	困難を抱えている人をみんなで支えあっている
12	安心して子どもを生き育てることができる
13	住み慣れた家で暮らし続けることができる
14	福祉施設や専門の支援によって、暮らしが支えられている
15	ご近所と日ごろから「お互い様」と思いやるつながりがある
16	病気になるよう予防や衛生環境に気をつけている
17	かかりつけのお医者さんなど身近な医療機関があり、安心できる
18	子どもたちの未来に明るい希望がある
19	困ったとき何でも気軽に相談できる場所がある